

酒好きほぼ 100 人に聞くアンケート「酒飲みのミカタ」

## 2021 年あなたの酒予想、今年ヒットするのは？

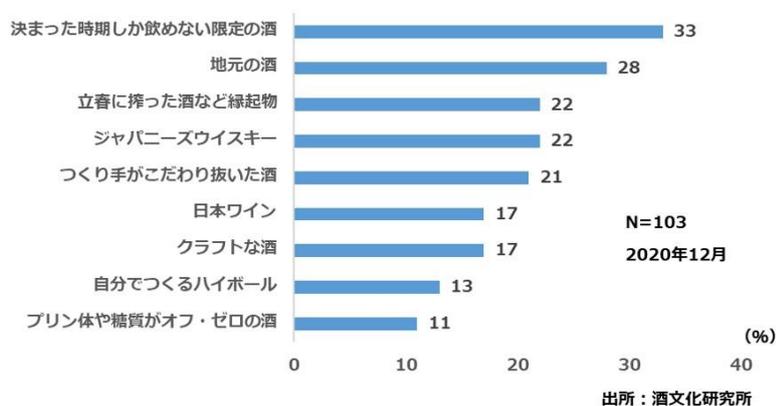
酒好きほぼ 100 人に聞くアンケート「酒飲みのミカタ」。今年最初のテーマは「2021 年あなたの酒予想」です。まだ、しばらくはコロナ予防対策をしながらの暮らしが続きます。酒を愛する皆様はどのような酒ライフにしたいと思っているかを伺いました。

### ■注目は「季節の酒」と「地元の酒」

まず、「巣籠が続く中、選ぶことが増えそうな酒は？」という質問から見ていきましょう。もっとも多く得票したのは「決まった時期しか飲めない限定の酒」で 33%にのびりました。

昨秋、ボジョレーヌーヴォーが予想を上回る好調ぶりと報じられたのは記憶に新しいところですが、マンネリしがちな家飲みが続く中、季節限定のイベント商品は今年も人気となりそうです。

巣籠りが続く中、選ぶことが増えそうな酒



第 2 位は「地元の酒」で 28%です。かつては地元の酒というと清酒をイメージしたのですが、10 年ほど前から各地に小規模なブルワリーやワイナリーが誕生し、最近ではウイスキーやジンをつくる蒸溜所も増えています。地産地消を謳い地元の酒や食品を好んで選ぶ消費スタイルも広がりを見せており、テレワークが当たり前になり自宅で過ごす時間が長くなったことが、こうした消費傾向を促しているのかもしれない。

3 位は「立春に搾った酒など縁起物」と「ジャパニーズウイスキー」がともに 22%で並びました。立春（今年は 2 月 3 日）の早朝から全国各地の酒蔵が地元の酒販店と一緒に瓶詰めし、その日のうちにお届けする「立春朝搾り」は日本名門酒会の人気企画です。今年は例年以上の盛り上がりが予想されます。また、世界中で高い人気が続いている



風物詩となる季節限定の酒への関心は高い

ジャパニーズウイスキーは、引き続き愛飲家の垂涎の的になりそうです。近年は酒齢の長い

ものは商品供給がタイトでしたが、蒸溜所の製造能力を増強、フル稼働で生産し始めて約 10 年になります。安定供給されるようになる日が楽しみです。

5 位以下には「つくり手がこだわり抜いた酒 (21%)」「日本ワイン (17%)」「クラフトな酒 (同)」とつくり手の思い入れが前面に出たストーリー性のある商品群があがりました。



ジャパニーズウイスキーは人気が続きそうだ

## ■ 2021 年のニューノーマル 飲み会は少人数で

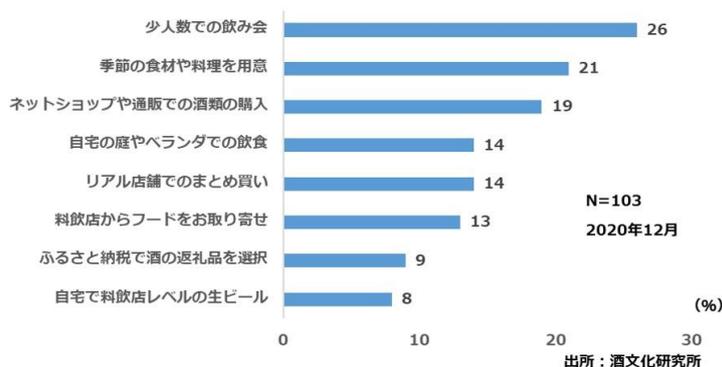
増えそうな飲酒シーンでは「少人数での飲み会」が 26% でトップです。感染防止対策を講じたうえで少人数の飲み会が、コロナ禍が収束するまでのスタンダードになりそうです。密を避け、手指の消毒を徹底し、大声で話さず、料理は銘々に用意するスタイルが定着すると予想されます。

2 番目は「季節の食材や料理を用意する (21%)」でした。季節限定の酒が好まれたのと同様に、酒肴も季節感の豊かなものが食卓を飾る機会が増えそうです。

3 番目は買い方の変化です。「ネットショップや通販での酒類の購入」が増えるとした方が 19% でした。ワインやシングルモルトウイスキーは商品が豊富で何をどう選べばいいのかわからないといわれます。わかりやすい切り口での商品の紹介や、顧客の購買履歴を踏まえた商品提案など、優れた企画を打ち出す販売店が業績を伸ばしそうです。

昨年広まった料飲店でのテイクアウトサービスの利用やふるさと納税の返礼品に酒類を選択、自宅でも料飲店レベルの生ビールを求める動きも続きそうです。

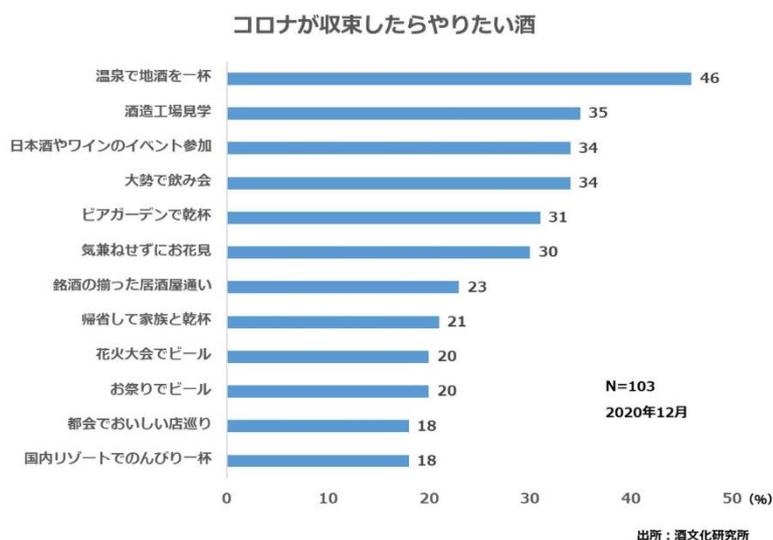
巣籠りが続く中、増えそうな酒シーン



自宅でお店の生ビールのクオリティを追求

## ■ コロナが収まったらやりたいのは「温泉で地酒を一杯」

最後に 2021 年の予想として「コロナ禍が収束したらやりたいこと」を酒について選んでもらいました。トップは「温泉で地酒を一杯」で群を抜いて多い 46%の得票率です。旅行も制限されているため、自由に動けるようになったら旅と酒へのニーズが膨らむことでしょう。



第2位グループは約35%の得票率で「酒造工場見学」「日本酒やワインのイベント参加」「大勢での飲み会」があがりました。酒造工場は人気の高い観光コンテンツですが、新型コロナウイルスの感染を防止するため、現在は多くが見学者の受け入れを見合わせています。試飲イベントは日本酒やワインだけでなくビールやウイスキーも各地で多数開催されました。昨年はほとんどが中止となり、これも再開を望む声が非常に強いことがわかります。これらの催しに再び参加できるよう、一日も早いコロナ禍の収束を願うばかりです。■



温泉と地酒は超人気観光コンテンツ  
「さけ通信」より



蒸溜所の見学も再開の要望が多い  
サントリー山崎蒸溜所より



当面はオンライン見学会が続きそう  
一ノ蔵利き酒セミナーより

### 【調査概要】

- 調査時期：2020/12/22～12/25
- 調査方法：インターネットアンケート
- サンプル数：103人（お酒好きな人）

### 【このリリースに関する問い合わせ】

株式会社酒文化研究所 担当：山田聡昭 TEL:080-3918-0453（平日・9:30～17:30）

Email : [yamada@sakebunka.co.jp](mailto:yamada@sakebunka.co.jp)